

大沼

(おおぬま)



全景



親水水路

ため池の概要

ため池の所在地

栃木県小山市

ため池の特徴

大正7年頃より昭和3年にかけて築かれた農業用ため池(貯水量11万トン)で、小山市中南部の水田(347ha)の重要な水源となっています。平成14年には市民の憩いの場・安らぎの場として整備されました。

大沼は、渡り鳥のマガモやコガモが多くみられ、近年は白鳥も飛来しています。

また里山や農業用水路が隣接するため、カワセミ等の小鳥やメダカ・モツゴ等の魚類も観察され、散策すると多くの小鳥の鳴き声も聞こえ、里山とため池の静寂な空間を楽しむことができます。

地元では、羽川大沼地区地域用水対策協議会を中心に、「水辺の郷大沼『都市と地域』の交流会」が催されており、近隣市街地と地元双方から人々が参加して、都市と農村の交流が活発に行われています。

関連情報

小山用水大沼ため池ホームページ
<http://www2.odn.ne.jp/oyama-yousui>